

1. 南国市の位置

南国市は高知県中央部に位置し、南は東西12kmの海岸線により太平洋に面し、北は重畳たる山並みが連なる。肥沃な高知平野と物部川に育まれた自然が豊かな地域である。

また、陸・海・空の広域交通拠点で、高知県の交通の要衝の地でもある。

高知龍馬空港は滑走路を2500mに拡張され、「陸の玄関」高知自動車道南国ICからは、南国オフィスパークや流通団地など周辺流通基地へのアクセス道の整備も進み、また県東部に延びるごめん・なはり線はJR線と後免駅で連結し、交流人口が増加している。高知東部自動車道の開通により、津波浸水しない災害に強い道路が形成されている。

南国市は歴史の宝庫でもあり、国分寺が建立され、国衙が置かれ、政治・文化の中心として栄え、「土佐のまほろば」と呼ばれている。

(令和5.4.1現在)

位 置	東 経	133度38 分
	北 緯	33度34 分
面 積		125.3 km ²
標 高		12.0 m
区 域	東 西	12.0 km
	南 北	23.0 km

2. 南国市勢

国 勢 調 査	人 口	46,664 人
(令 和 2 年 10 月 26 日)	世帯数	19,755 世 帯
住 民 基 本 台 帳	人 口	46,069 人
(令 和 5 年 4 月 1 日 現 在)	世帯数	22,378 世 帯

3. 人口・面積に対する比較

区 分	面 積	人 口	世帯数	備考
消 防 職 員 1 人 に 付 き	1.9 Km ²	688 人	334 世帯	(67 人)
消 防 団 員 1 人 に 付 き	0.4 Km ²	138 人	67 世帯	(335 人)
ポ ン プ 自 動 車 (署)	41.8 Km ²	15,356 人	7,459 世帯	(3 台)
救 急 車 1 台 に 付 き	25 Km ²	9,213 人	4,476 世帯	(5 台)
ポ ン プ 自 動 車 (団)	5.4 Km ²	2,003 人	973 世帯	(20 台)
小 型 ポ ン プ 1 台 に 付 き				(3 台)

4. 南国市消防の沿革

- S34. 10. 1 南国市制施行 南国市消防団発足
初代団長に山岡八郎氏を任命 副団長に田所良知氏 福川藤茂氏が就任
10. 14 消防団編成会議を開催 旧町村単位に分団を置く体制に組織
17分団 35ヶ班 団員定数456名
12. 11 南国市消防団条例を制定
- S35. 7. 1 消防団定数を25名減員 431名となる
- S36. 4. 4 高知県消防協会長より表彰旗を授与される
6. 30 山岡八郎団長が勇退
7. 1 二代団長に田所良知氏を任命 副団長に秋山市郎氏が就任
- S37. 12. 27 南国市消防審議会（設置）条例を制定
- S38. 1. 17 南国市消防審議会委員7名を委嘱
5. 1 消防防災行政の体制強化のため市総務課に消防防災係を設置 2名の職員を発令
9. 1 市職員で新分団を編成 18分団 36ヶ班 団員定数442名となる
- S39. 4. 1 消防団員の火災出動手当を廃止 年報酬のみの支給とする
10. 1 消防団員定数を132名減員
- S40. 1. 6 県会議員西内四郎氏より消防団旗が寄贈される
4. 1 消防団組織の合理的運営と消防力強化を図るため分団の総合的整備を実施
12分団 23ヶ班 団員310名に改編 消防施設整備5ヶ年計画に着手
副団長の定数増により山下正雄氏が就任
- S41. 2. 11 日本消防協会長により表彰旗を授与される
4. 1 南国市消防団の設置に関する条例等2件制定（南国市消防団条例は廃止）
消防団員定数を12名増員 322名となる
- S42. 5. 12 消防本部 消防署設置の政令指定を受ける
10. 2 消防本部 消防署設置条例を制定
10. 5 南国市大埴甲1623-4番地にある後免分団屯所を仮庁舎として消防本部を設置
初代消防長に徳橋一郎（助役兼務） 消防次長に川田正雄以下総務 予防 警
防の各係長を発令
10. 15 高知県知事より竿頭綬を授与される
- S43. 1. 1 消防本部に消防職員1名 事務職員1名を増員
4. 1 南国市消防署発足
初代署長に川田正雄発令 職員16名を採用 職員定数23名
10. 1 救急業務対応のため職員2名増員
11. 15 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（BD-1型）が寄贈される
- S44. 4. 1 救急業務を開始 職員5名を採用 職員定数30名となる
11. 9 高知県中央地区消防協議会第10回消防操法記念大会（自動車ポンプ軽量吸管の部）
で南海分団稲生班が優勝
- S45. 3. 3 消防本部 消防団に消防庁長官により竿頭綬を授与される
4. 1 消防団員定数を3名増員 325名となる
昭和40年度より実施していた消防施設整備計画を3年間継続
団運営について 条例 規則を補足するため消防団運営規則（内規）を制定
消防団運営交付金を新設
- S46. 9. 30 田所良知団長が勇退
10. 1 3代団長に秋山市郎氏を任命 副団長に浜田駿氏が就任
- S47. 4. 1 消防本部に救急係を新設 係長を発令
10. 1 消防団員定数を3名増員 328名となる
- S48. 4. 1 職員2名採用（増員、補充各1名） 職員定数31名となる
7. 11 南国市大埴甲1592-10番地に新消防庁舎が落成 業務開始
12. 31 徳橋一郎消防長（助役）が辞任
- S49. 4. 1 消防長に川田正雄 消防次長（署長兼務）に徳橋喜世久発令
- S50. 3. 4 消防本部 消防団に消防庁長官より表彰旗が授与される
4. 1 消防団表彰条例（退職金）を制定
消防本部に消防係を新設 係長を発令
職員を7名採用 職員定数38名となる
- S50. 7. 7 日本消防協会より広報車（三菱ギャラン）が寄贈される
9. 18 秋山一郎団長が勇退
9. 19 4代団長に福川藤茂を任命 副団長に斎藤正展氏が就任
- S52. 4. 1 南国市ライオンズクラブよりグラスファイバーボート2艘が寄贈される
6. 19 第1回分団対抗ソフトボール大会開催
- S54. 1. 6 消防団員市長表彰（精勤章、永年勤続功労章）を新設

4. 1 職員を1名採用（補充）
- S54. 9. 18 福川藤茂団長が勇退
9. 19 5代団長に山下正雄氏を任命 副団長に片岡金路氏が就任
- S55. 4. 1 職員4名採用 職員定数42名となる
5. 29 南国市消防OB会発足
8. 26 日本消防協会より救急車（2B型・トヨタ）が寄贈される
- S56. 8. 28 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（BD-1型）が寄贈される
9. 29 日本消防協会より救出救助資器材搬送車（トヨタ）が寄贈される
- S57. 2. 11 日本消防協会より竿頭綬を授与される
4. 1 消防本部5係を総務 予防 警防の3係に改編 消防署に消防係を新設
6. 23 消防OB会より夏期訓練競技の優勝旗が寄贈される
- S58. 4. 1 職員2名採用（補充）
9. 18 山下正雄団長が勇退
9. 19 6代団長に斎藤正展氏を任命 副団長に竹内武男氏が就任
- S59. 4. 1 消防本部に警防担当 予防担当の司令を配置
- S60. 11. 6 片岡金路副団長が勇退
11. 14 副団長に高島田道雄氏が就任
- S61. 4. 1 消防団定数を3名増員 331名となる
- 消防本部の担当司令を総務 予防 警防に改編
- S62. 4. 1 消防本部に総務課（総務係） 警防課（警防係）を新設（担当制を廃止）
- 職員を10名採用 職員定数52名となる
4. 30 高知県知事より竿頭綬を授与される
9. 5 斎藤正展団長が勇退
9. 10 七代団長に浜田駿氏を任命 副団長に田島裕氏が就任
10. 5 高知県共済農協連合会より救急車（2B型・ニッサン）が寄贈される
11. 12 南国市久礼田297-2番地に北部出張所新庁舎が落成 業務開始
- S63. 4. 1 消防団員定数を3名増員334名となる
- 職員を3名採用（補充）
5. 8 斎藤前団長より団対抗ソフトボール大会の優勝旗が寄贈される
- H元. 3. 31 川田正雄消防長が退職
4. 1 消防長事務取扱に浜田一雄（助役兼務） 消防次長に徳橋喜世久（継続）
- 消防署長（総務課長兼務）に竹本耕一発令
11. 14 高知県中央地区消防協議会ソフトボール大会で南国市チームが優勝
- H 2. 3. 31 浜田一雄消防長が辞任
4. 1 消防長に徳橋喜世久発令
4. 28 高知県知事より表彰旗を授与される
11. 1 第42回全国消防長会警防委員会を南国市で開催
12. 4 南国市婦人防火クラブ連合会を結成
- H 3. 3. 17 日本消防協会互助年金部より乗用車（コロナ）が寄贈される
3. 31 徳橋喜世久消防長が転出
4. 1 消防長（署長兼務）に竹本耕一 消防次長（警防課長兼務）に竹中守発令
- 職員1名採用（実員51名）
7. 3 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（タンク）が寄贈される
9. 1 南国市消防史が編纂される
9. 9 浜田駿団長が勇退
9. 10 八代団長に竹内武男氏を任命 副団長に森下真男氏が就任
11. 1 浜田団長より演台が寄贈される
- H 4. 4. 1 消防職員定数を3名増員 55名となる
- 消防次長（総務課長兼務）に面岡次男発令
4. 1 職員を2名採用（実員50名）
- H 5. 4. 1 消防職員定数を4名増員 59名となる
- 職員を5名採用（実員55名）
- H 6. 4. 1 消防署長（消防次長、総務課長兼務）に面岡次男発令
- 職員を4名採用（実員59名）
7. 25 日本防火協会より防火広報車が寄贈される
10. 1 消防団員定数10名増員 344名となる
- H 7. 1. 1 女性団員10名採用
1. 18 兵庫県南部地震応援派遣（救助隊員4名を派遣）
10. 1 竹内武男団長が勇退
10. 1 九代団長に森下真男氏任命 副団長に岡田四郎氏 吉川孝雄氏 隅田龍夫氏が就任
11. 3 防災プラザ高知が開催される
- 日本損害保険協会より「起震機」及び風力体験機「SP-STORM-SYSTEM」が寄贈される

- 12. 25 消防職員定数1名増員（定数60名になる）
- H 8. 2. 1 高知県消防防災航空隊発足（職員を1名派遣）
- 3. 31 竹本耕一消防長が退職
- 4. 1 消防長に星沢豊穂発令
職員を2名採用（実員60名になる）
- H10. 3. 3 自治体消防発足50周年行事参加
- 4. 1 消防本部に予防課を設置
- 9 24 高知県中部地域に未曾有の集中豪雨 南国市でも総雨量986mmの
～25 豪雨により市内全域で浸水 崩土の被害を受ける
- 11. 18 防災功労者消防庁長官表彰を授与される
- 11. 27 水防功労者建設大臣表彰を授与される
- H11. 9. 1 内閣総理大臣表彰を授与される
- 9. 30 森下団長が勇退
- 10. 1 10代団長に吉川孝雄氏任命 副団長に岡田四郎氏 隅田龍夫氏 竹中浩氏が就任
- 10. 12 防災無線 L A N（危険個所監視無線遠隔カメラ）運用開始
- 12. 16 消防団無線運用開始
- H12. 4. 1 職員1名退職による補充1名（実員60名）
消防本部総務課に消防団係を設置
- H13. 3. 30 J A 共済高知県本部より救急車（2B型・ニッサン）が寄贈される
- 3. 31 星沢豊穂消防長が退職
- 4. 1 消防長に面岡次男発令 消防次長（署長・総務課長兼職）に大谷豊克発令
職員1名を採用（実員60名）
- H14. 4. 1 職員定数を5名増員（定員65名）職員1名を採用（実員61名）
- 5. 31 消防庁舎用地を購入（3, 295, 88㎡）
- 6. 30 財団法人日本宝くじ協会より防火普及啓発指導車（けすぞう君）が寄贈される
- 10. 10 消防庁舎起工式
- H15. 4. 1 職員3名を採用（実員64名）
- 9. 26 消防新庁舎竣工式
- 9. 30 吉川団長が勇退
- 10. 1 11代団長に岡田四郎氏任命 副団長に竹中浩氏 浜田伸夫氏 武市憲雄氏が就任
- 10. 23 消防新庁舎にて業務開始
- H16. 2 4 日本損害保険協会より水槽付き消防ポンプ自動車が寄贈される
- 4. 1 消防署長に田岡高昭発令
- 4. 1 消防職員2名を採用（実員65名）
- H17. 12. 1 田岡高昭署長退職
- H18. 4. 1 消防署長に岡林則雄発令
- 4. 1 消防職員4名を採用（実員60名）
- H19. 10. 1 12代団長に武市憲雄氏任命 副団長に浜田伸夫氏 島崎紀夫氏 横堀忠氏が就任
- H20. 2. 25 日本消防協会より団活動車が寄贈される
- 1. 31 高規格救急車（ニッサン）運用開始
- 3. 31 面岡次男消防長が退職
- 4. 1 消防長に高木正平発令
- H21. 2. 13 日本消防協会より竿頭綬を授与される
- 4. 1 消防職員1名を採用（実員59名）
- 7. 1 消防職員、消防団員に災害用緊急メールの配信開始
- 12. 31 岡林則雄署長が退職
- H22. 3. 31 高木正平消防長 大谷豊克次長が退職
- 4. 1 消防長に洲賀崎勝男発令 消防次長に溝渕慶喜発令 消防署長に岡田直人発令
- 4. 1 消防職員6名を採用（実員59名）
- 8. 3 J A 共済高知県本部より高規格救急車（トヨタ）が寄贈される
- H23. 3. 14 東日本大震災被災地へ緊急援助隊派遣（消防隊2名）
- 4. 1 消防本部、警防課に救急救助係、予防課に危険物係を設置
- 4. 1 消防職員2名を採用（実員61名）
- 4. 23 東日本大震災被災地岩沼市（姉妹都市）へ消防団員第1陣派遣
- 5. 7 東日本大震災被災地岩沼市（姉妹都市）へ消防団員第2陣派遣
- 10. 1 13代団長に武市憲雄氏任命 副団長に横堀忠氏 山本速生氏 西田早見氏が就任
- 11. 3 消防本部、消防団に総務大臣表彰及び消防庁長官表彰が授与される
- H24. 3. 1 南国ライオンズクラブから水難救助ボート寄贈
- 4. 1 高機能消防指令システムの運用開始
- 9. 26 トヨタカローラ高知（株）より団指揮車（ノア）が寄贈される
- 10. 2 J A 共済高知県本部より軽四救急車（ホンダ）が寄贈される
- H25. 3. 1 南国市消防救急デジタル無線システム運用開始
- 3. 31 溝渕慶喜次長が退職
- 4. 1 消防職員を3名採用（実員63名）

- 7. 21 消防団機動部隊発足
- H26. 2. 1 防災行政無線システム運用開始
- 3. 5 消防本部 消防団に消防庁長官により竿頭綬を授与される
- 3. 28 CAFS装置搭載消防ポンプ自動車運用開始
- 3. 31 武市豊次長が退職
- 4. 1 消防職員を2名採用 (実員63名)
- 12. 13 消防団災害支援隊発足
- 10. 1 洲賀崎勝男消防長退職
- 10. 2 消防長に藤村明男発令 (副市長兼任)
- 10. 25 南国市少年消防クラブ発足
- 12. 1 消防長に小松和英発令 消防次長に宮本範和発令
- H27. 2. 25 化学消防ポンプ自動車運用開始
- 4. 1 消防職員4名採用 航空隊に職員1名派遣 (実員62名)
3部制運用開始
- 9. 30 武市団長勇退
- 10. 1 14代団長に葛目浩一氏任命 副団長に門田俊一氏 棚橋正志氏 杉村寛氏が就任
- H28. 4. 1 消防職員定数改正により68名となる
- 4. 1 消防職員5名採用 (実員64名)
- 5. 11 南国市消防団学生サポーター発足
- 12. 5 小型動力ポンプ付水槽車運用開始
- H29. 3. 31 自家給油施設完成
- 4. 1 消防次長に山下道雄発令
消防職員3名採用(実員65名)
たちばな幼稚園幼年消防クラブ結成
- 10. 13 高規格救急車運用開始
- 10. 25 総務省消防庁より消防団車両貸与
- H30. 3. 24 平成29年度優良少年消防クラブ受賞
- 4. 1 消防職員定数改正により71名となる
- 4. 1 消防職員2名採用 (実員67名)
- H31. 3. 23 災害対応特殊消防ポンプ自動車運用開始
- 3. 31 山下道雄次長が退職
- 4. 1 消防署長に河村直知発令
- 4. 1 消防職員2名採用 (実員67名)
- 4. 1 再任用職員2名採用
- 4. 1 高規格救急車運用開始
- 4. 1 緊急消防援助隊支援車Ⅳ型運用開始
- R元. 6. 1 多言語通報通訳サービスが県下一斉に開始
- 10. 1 15代団長に棚橋正志氏任命 副団長に杉村寛氏 徳久靖洋氏 吉本正仁氏が就任
- 11. 1 Net119緊急通信システムが県下一斉に開始
- R2. 4. 1 消防職員2名採用 航空隊に職員1名派遣 (実員68名)
- 4. 1 消防団員定数6名増員 350名となる
- R2. 6. 5 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 運用開始
- R2. 12. 22 救助工作車Ⅱ型 運用開始
- R3. 3. 20 令和2年度特に優良な少年消防クラブ受賞
- R3. 4. 1 消防次長に河村直知発令
- R3. 4. 1 消防職員2名採用 (実員69名)
- R3. 9. 1 高規格救急車運用開始
- R4. 3. 28 南国市ライオンズクラブよりドローン一機が寄贈される
- R4. 3. 31 宮本範和次長兼警防課長が退職
- R4. 4. 1 消防職員2名採用 (実員69名)
- R4. 8. 1 「高知家の救急医療電話(＃7119)」が県下一斉に開始
- R5. 2. 28 消防団災害活動用重機運用開始
- R5. 3. 1 認定こども園ひまわりに旧岡豊分団八幡班ポンプ自動車寄贈
- R5. 3. 27 高知大学医学部付属病院と「病院型派遣救急ワークステーションの設置に関する協定」を締結
- R5. 4. 1 消防次長に三谷洋亮発令
- R5. 4. 1 消防職員1名採用 高知県消防学校に職員1名派遣 (実員67名)

5. 行政区別面積人口統計

区 域 別	面積 (km ²)	住民基本台帳	
		世帯数	人口(人)
上 倉	41.61	314	643
瓶 岩	17.56	237	434
久礼田	6.09	1,020	2,195
国 府	2.48	738	1,636
岡 豊	12.62	2,003	4,077
長 岡	8.02	3,315	6,447
野 田	1.41	570	1,236
後 免	0.15	259	438
大 篠	7.00	6,898	14,571
岩 村	2.36	397	871
日 章	8.49	1,917	3,434
前 浜	2.38	542	1,041
稲 生	3.87	718	1,491
三 和	5.67	1,240	2,600
十 市	5.59	778	1,649
緑ヶ丘		1,432	3,306
計	125.30	22,378	46,069

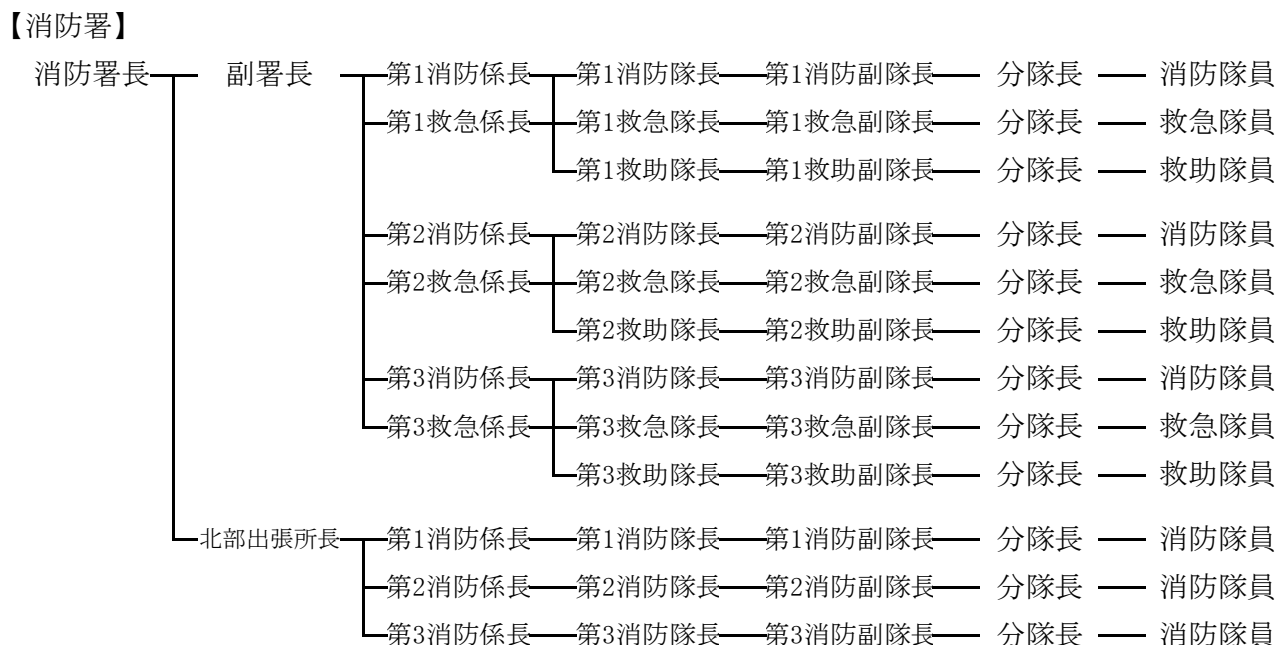
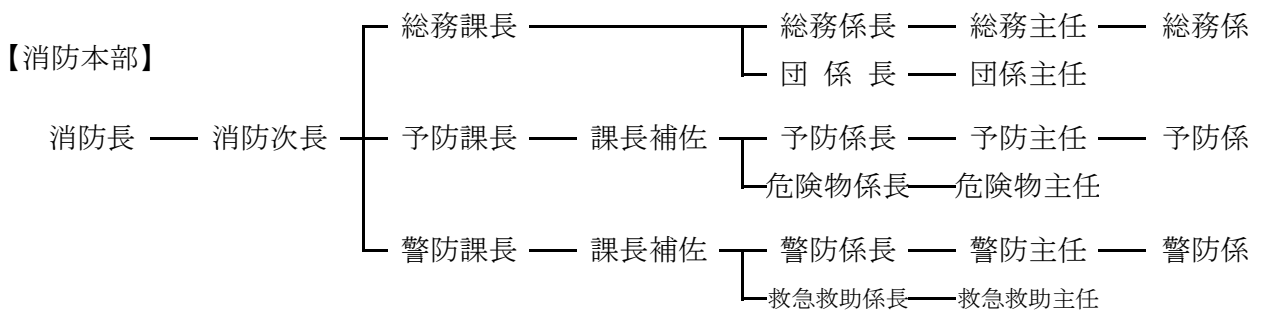
6. 基準消防力の現況

(令和4年度消防施設整備計画実態調査に基づく)

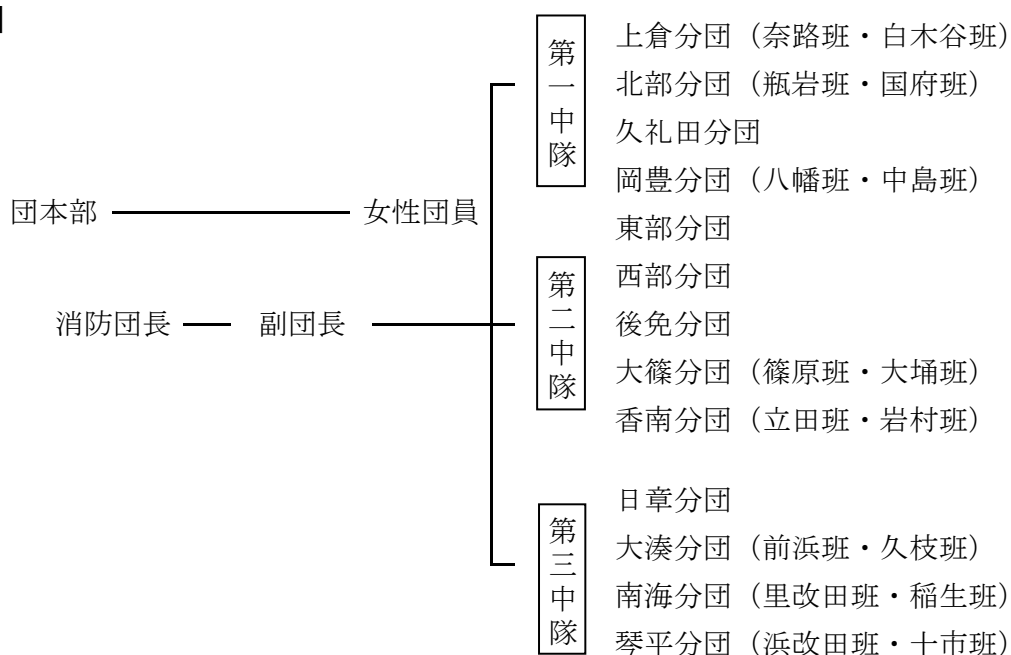
区 分	基準台数	基準台数の 人員の基準数	現有台数	現有台数の人 員の基準数
指 揮 車	1	9	1	9
消防ポンプ自動車	3	28	3	28
は し ご 自 動 車	1	0	0	0
化 学 消 防 車	1	0	1	0
救 急 自 動 車	4	29	4	29
救 助 工 作 車	1	16	1	16
水 槽 車	0	0	1	0
合 計	11	82	11	82

	総 数
基準台数に対する人員の基準数 (人)	104
現有台数に対する人員の基準数 (人)	82
通信員の基準数 (人)	2
予防要員の基準数 (人)	11
上記以外的人员数 (人)	13
現有人員数 (人)	70
不足人員数 (人)	34
比 率 (%)	67.3

7. 消防組織



【団本部】



【消防審議会】

〔委員構成〕

- | | | | |
|-------------|----|-------------|----|
| (1) 市議会議員 | 2名 | (3) 市長事務局職員 | 1名 |
| (2) 識見を有する者 | 3名 | (4) 消防関係者 | 1名 |

8. 歴代消防長等

★消防長

歴 順	氏 名	就任年月日	退任年月日	在職期間	備 考
初 代	徳橋 一郎	S42. 10. 5	S48. 12. 31	6年3ヶ月	(助役兼務)
2 代	川田 正雄	S49. 4. 1	H 1. 3. 31	15年	
3 代	浜田 一雄	H元. 4. 1	H 2. 3. 31	1年	(助役兼務)
4 代	徳橋 喜世久	H 2. 4. 1	H 3. 3. 31	1年	
5 代	竹本 耕一	H 3. 4. 1	H 8. 3. 31	5年	
6 代	星沢 豊穂	H 8. 4. 1	H13. 3. 31	5年	
7 代	西岡 次男	H13. 4. 1	H20. 3. 31	7年	
8 代	高木 正平	H20. 4. 1	H22. 3. 31	2年	
9 代	洲賀崎 勝男	H22. 4. 1	H26. 10. 1	4年7ヶ月	
10 代	藤村 明男	H26. 10. 2	H26. 11. 30	2ヶ月	(副市長兼務)
11 代	小松 和英	H26. 12. 1	現任	8年3ヶ月	

★消防次長

歴 順	氏 名	就任年月日	退任年月日	在職期間	備 考
初 代	川田 正雄	S42. 10. 5	S49. 3. 31	6年6ヶ月	
2 代	徳橋 喜世久	S49. 4. 1	H 2. 3. 31	16年	
3 代	竹本 耕一	H 2. 4. 1	H 3. 3. 31	1年	
4 代	竹中 守	H 3. 4. 1	H 4. 3. 31	1年	
5 代	西岡 次男	H 4. 4. 1	H13. 3. 31	9年	
6 代	大谷 豊克	H13. 4. 1	H22. 3. 31	8年	
7 代	溝渕 慶喜	H22. 4. 1	H25. 3. 31	3年	
8 代	武市 豊	H25. 4. 1	H26. 3. 31	1年	
9 代	小松 和英	H26. 4. 1	H26. 11. 30	9ヶ月	
10 代	宮本 範和	H26. 12. 1	R4. 3. 31	7年3ヶ月	(警防課長兼務)
11 代	山下 道雄	H29. 4. 1	H31. 3. 31	2年	(総務課長兼務)
12 代	河村 直知	R 3. 4. 1	現任	2年	(署長兼務)
13 代	三谷 洋亮	R 5. 4. 1	現任	0ヶ月	(総務課長兼務)

8. 歴代消防長等

★署 長

歴 順	氏 名	就任年月日	退任年月日	在職期間	備 考
初 代	川田 正雄	S43. 4. 1	S49. 3. 31	6年	
2 代	徳橋 喜世久	S49. 4. 1	H 1. 3. 31	15年	
3 代	竹本 耕一	H元. 4. 1	H 5. 3. 31	6年	
4 代	面岡 次男	H 6. 4. 1	H13. 3. 31	7年	
5 代	大谷 豊克	H13. 4. 1	H16. 3. 31	3年	
6 代	田岡 高昭	H16. 4. 1	H17. 12. 1	1年9ヶ月	
7 代	岡林 則雄	H18. 4. 1	H21. 12. 31	3年9ヶ月	
8 代	岡田 直人	H22. 4. 1	H25. 3. 31	3年	
9 代	久保 泰祐	H25. 4. 1	H26. 3. 31	1年	
10 代	宮本 範和	H26. 4. 1	H31. 3. 31	5年	
11 代	河村 直知	H31. 4. 1	現 任	4年	

9. 消防審議会委員名簿

	氏 名	就任年月日	在職期間	備 考
会 長	武市 憲雄	H29. 4. 1	6年	識見を有するもの
副 会 長	白山 早苗	H20. 4. 1	16年	識見を有するもの
委 員	面岡 次男	H21. 4. 1	14年	識見を有するもの
〃	岡崎 純男	H27. 11. 5	7年5ヶ月	市議会議員
〃	神崎 隆代	R 3. 4. 1	2年	市議会議員
〃	中島 章	R 2. 4. 1	3年	市長事務局職員
〃	杉村 寛	H27. 10. 1	7年6ヶ月	消防関係者

10. 事務分掌

消防本部

総務課（総務係）

- 1) 消防総合企画に関する事。
- 2) 消防予算及び経理に関する事。
- 3) 国・県等補助申請に関する事。
- 4) 物品の調達及び保管整理に関する事。
- 5) 消防施設の営繕管理に関する事。
- 6) 公印の保管・文書の収発に関する事。
- 7) 条例・規則等に関する事。
- 8) 職員の人事・管理に関する事。
- 9) 職員の給与・手当に関する事。
- 10) 職員の福利厚生に関する事。
- 11) 渉外事務に関する事。
- 12) その他・他の係に属しない事。

総務課（消防団係）

- 1) 消防団に関する事。
- 2) 高知県市町村総合事務組合事務に関する事。
- 3) 消防関係団体及び機関に関する事。
- 4) 消防通信施設の運営に関する事。
- 5) 消防用機械器具の維持管理に関する事。
- 6) 消防地理及び水利に関する事。
- 7) 消防相互応援協定に関する事。
- 8) 水火災の予防鎮圧及びその他の災害の警戒防衛に関する事。
- 9) 団員の訓練・礼式に関する事。
- 10) 警報の発令・解除に関する事。

予防課（予防係）

- 1) 火災予防対策及び消防広報に関する事。
- 2) 防火管理者の指導・育成に関する事。
- 3) 防火思想の普及宣伝に関する事。
- 4) 防火・消防対象物の予防査察及び防火指導に関する事。
- 5) 火災予防条例の規定に基づく指導取締に関する事。
- 6) 建築確認申請の同意事務に関する事。
- 7) 消防用設備等の指導・取締に関する事。
- 8) 危険物製造所等の設置・許可・届出・検査等に関する事。
- 9) その他・予防事務に関する事。

予防課（危険物係）

- 1) 危険物の貯蔵及び取扱いの指導に関する事。
- 2) 危険物の貯蔵及び取扱いの指導に関する事。

- 3) 危険物の製造所等の規制事務に関する事。
- 4) 指定数量未満危険物の指導取締に関する事。

警防課（警防係）

- 1) 警防計画に関する事。
- 2) 消防通信施設の運営管理に関する事。
- 3) 消防用機械器具の維持管理に関する事。
- 4) 消防地理及び水利に関する事。
- 5) 火災等の原因調査・報告に関する事。
- 6) 火災統計に関する事。
- 7) 被災証明に関する事。
- 8) 消防気象に関する事。
- 9) 消防相互応援協定に関する事。
- 10) その他・警防事務に関する事。

警防課（救急救助係）

- 1) 救助に関する事。
- 2) 救急事務に関する事。

消防署（消防係・消防隊・救助隊）

- 1) 署・所の庶務及び施設管理に関する事。
- 2) 水火災の予防鎮圧及びその他災害の警戒・防衛に関する事。
- 3) 職員及び団員の訓練・礼式に関する事。
- 4) 警報の発令・解除に関する事。
- 5) 職員の服務及び規律に関する事。
- 6) 消防通信及び受付勤務に関する事。
- 7) 地水利の調査・保全に関する事。
- 8) 消防用機械器具の点検整備に関する事。
- 9) 消防相互応援協定の実施に関する事。
- 10) 救助に関する事。
- 11) 予防査察及び防火指導・取締に関する事。
- 12) その他消防関係事項。

消防署（救急係）

- 1) 救急計画に関する事。
- 2) 救急統計に関する事。
- 3) 救急搬送証明に関する事。
- 4) 救急講習に関する事。
- 5) その他、救急事務に関する事。

11. 消防庁舎概況

【消防本部・消防署】

- (1)所在地 南国市篠原164番地1 (5)構造 鉄骨造4階建
 (2)敷地面積 3,295.89㎡ (訓練主塔、副塔を併設)
 (3)建築面積 1,216.17㎡
 (4)延面積 3,662.55㎡ (6)建設年月 平成15年9月

階	庁舎 (渡り廊下含む)	訓練主塔	訓練副塔 (車庫・備蓄倉庫含む)	合 計
1階	929.22㎡	36.00㎡	198.30㎡	1,163.52㎡
2階	288.15㎡	36.00㎡	84.70㎡	408.85㎡
3階	910.39㎡	36.00㎡	84.70㎡	1,031.09㎡
4階	916.79㎡	36.00㎡	70.30㎡	1,023.09㎡
5階		36.00㎡		36.00㎡
計	3,044.55㎡	180.00㎡	438.00㎡	3,662.55㎡

【災害対策用燃料備蓄施設】

- (1)所在地 南国市篠原168番地1 (4)燃料備蓄
 (2)敷地面積 1015.795㎡ 鋼製強化プラスチック製
 (3)給油取扱所面積 150.00㎡ 2重殻タンク 20,000ℓ 1本
 (ガソリン・軽油 各10,000ℓ)

【北部出張所】

- (1)所在地 南国市久礼田297番地2 (5)構造 鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）平屋建（一部2階）
 (2)敷地面積 1,507.60㎡
 (3)建築面積 254.31㎡ (6)建設年月 昭和62年10月
 (4)延面積 272.59㎡

1階				2階	
車 庫	69.15㎡	玄 関	10.30㎡	倉 庫 17.36㎡	
事 務 室	45.90㎡	洗面浴室	16.80㎡	3階	
仮 眠 室	38.10㎡	機 械 室	8.00㎡	階段室 18.08㎡	
調 理 室	20.25㎡	そ の 他	12.00㎡		
計 220.50㎡				計 35.44㎡	

12. 一般会計予算と消防予算の推移

(単位 千円)

年度	一般会計予算	比率	消防予算額	前年度比較
22	17,830,000	3.3 %	583,505	△36,932
23	19,060,000	4.9 %	931,674	348,169
24	19,360,000	8.1 %	1,568,751	637,077
25	19,020,000	3.7 %	706,764	△861,987
26	20,140,000	6.4 %	1,296,564	589,800
27	21,790,000	7.1 %	1,545,762	249,198
28	22,240,000	4.8 %	1,077,395	△468,367
29	20,670,000	4.9 %	1,010,566	△66,829
30	20,770,000	5.1 %	1,049,411	38,845
元	23,680,000	4.5 %	1,054,797	5,386
2	23,340,000	4.9 %	1,133,375	78,578
3	23,830,000	3.7 %	883,972	△249,403
4	23,340,000	3.9 %	912,153	28,181

13. 消防予算に対する負担割合

区分 年度	消防予算額	人口	世帯数	負担額	
				一人あたり	一世帯あたり
28	1,077,395 千円	47,776 人	21,952 世帯	22,551 円	49,080 円
29	1,010,566 千円	47,540 人	21,978 世帯	21,257 円	45,981 円
30	1,049,411 千円	47,176 人	22,033 世帯	22,245 円	47,629 円
元	1,054,797 千円	46,967 人	22,126 世帯	22,458 円	47,672 円
2	1,133,375 千円	46,719 人	22,257 世帯	24,259 円	50,922 円
3	883,972 千円	46,332 人	22,246 世帯	19,079 円	39,736 円
4	912,153 千円	46,069 人	22,378 世帯	19,800 円	40,761 円

14. 消防予算項目比較

(単位 千円)

目 年度	常備消防費		非常備消防費		消防施設費		水防・防災費	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
23	488,072	52.4 %	42,511	4.6 %	258,229	27.7 %	142,862	15.3 %
24	500,107	31.9 %	45,397	2.9 %	34,801	2.2 %	988,446	63.0 %
25	508,160	71.9 %	46,532	6.6 %	33,760	4.8 %	118,312	16.7 %
26	501,192	38.7 %	52,694	4.0 %	132,443	10.2 %	610,235	47.1 %
27	496,936	32.1 %	58,195	3.8 %	177,007	11.5 %	813,624	52.6 %
28	501,518	46.6 %	53,799	5.0 %	194,085	18.0 %	327,993	30.4 %
29	495,392	49.0 %	66,437	6.6 %	139,828	13.8 %	308,909	30.6 %
30	512,725	48.9 %	66,091	6.3 %	204,923	19.5 %	265,672	25.3 %
元	529,769	50.0 %	62,254	6.0 %	261,414	25.0 %	201,360	19.0 %
2	540,594	47.7 %	64,505	5.7 %	286,944	25.3 %	241,332	21.3 %
3	536,165	60.7 %	62,480	7.0 %	150,770	17.1 %	134,557	15.2 %
4	543,197	59.6 %	65,401	7.2 %	105,172	11.5 %	198,383	21.7 %

15. 消防予算内訳

(単位 千円)

目	節	令和2年度	令和3年度	令和4年度
常備消防費	報酬	1,498	1,397	1,397
	給料	234,325	236,494	238,207
	職員手当	172,860	167,275	170,478
	共済費	83,855	82,414	83,748
	賃金	0	0	0
	報償費	58	67	67
	旅費	2,000	1,900	1,900
	交際費	150	150	150
	需用費	14,689	14,432	14,169
	役務費	4,851	4,856	5,586
	委託料	7,355	8,355	8,751
	使用料・賃借料	2,235	3,275	2,863
	備品購入費	6,300	7,500	7,000
	負担金	10,418	8,050	8,881
小計		540,594	536,165	543,197
非常備消防費	報酬	16,625	16,625	16,625
	報償費	3,000	3,008	2,408
	旅費	20,057	20,087	21,083
	需用費	3,720	3,820	3,910
	役務費	756	218	1,068
	委託料	330	330	330
	使用料・賃借料	1,600	1,500	1,489
	備品購入費	7,500	5,882	7,300
	補助金・負担金	10,917	11,010	11,188
	小計	64,505	62,480	65,401
施設費	需用費	11,700	12,850	11,412
	役務費	2,187	1,723	1,719
	委託料	16,655	6,965	19,272
	使用料・賃借料	15	96	96
	工事請負費	84,757	71,644	14,661
	原材料費	50	50	50
	公有財産購入費	2,000	0	0
	備品購入費	165,247	56,773	56,773
	公課費・その他	4,333	669	1,189
	小計	286,944	150,770	105,172
水防費		274	274	274
防災費		241,058	134,283	198,109
合計		1,133,375	883,972	912,153

16. 消防施設整備明細

○ 令和元年度

(単位 千円)

事業名 (型式・規格・数量等)		金 額	配置・配備 (備考)
消 防 ポ ン プ	南海分団里改田班 ポンプ車	24,860	
	琴平分団十市班 ポンプ車	24,970	
自 動 車			
消 防 屯 所	稲生防災活動拠点施設	29,780	
	後免防災活動拠点施設	79,200	
報 知 設 備 (通 信)			
消 防 水 利	耐震性貯水槽40m ³	5,084	ものづくりサポートセンター
	耐震性貯水槽40m ³	5,667	後免防災活動拠点施設
	耐震性貯水槽40m ³	4,896	中央地域交流センター
そ の 他	油圧コンビツール (23台)	11,178	全分団配備完了
	消防団備蓄食料	903	
	消防団幹部用安全帽 (26個)	300	
	V R 消火訓練シミュレータ	1,080	

○ 令和2年度

(単位 千円)

事業名 (型式・規格・数量等)		金 額	配置・配備 (備考)
消 防 ポ ン プ	香南分団岩村班 ポンプ車	25,520	
	香南分団立田班 ポンプ車	25,190	
	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	60,500	消防署
	救助工作車Ⅱ型	107,800	消防署
自 動 車			
消 防 屯 所			
報 知 設 備 (通 信)			
消 防 水 利	耐震性貯水槽40m ³	6,492	篠原2号街区公園
	耐震性貯水槽40m ³	7,217	中島防災活動拠点施設
そ の 他	チェーンソー用防護ズボン	556	消防団 (46本)
	消防団備蓄食料	908	
	幼年消防クラブ鼓笛隊セット	638	
	アイソレーター (陰圧装置隔離型付搬送用資器材)	1,499	
	アルミ製組立式ボート	732	

○ 令和3年度

(単位 千円)

事業名 (型式・規格・数量等)		金 額	配置・配備 (備考)
消 防 ポ ン プ 自 動 車	東部分団 ポンプ車	25,855	
	大篠分団篠原班 ポンプ車	25,777	
	災害対応特殊救急車	35,750	
消 防 屯 所	中島防災活動拠点施設	47,370	
	前浜防災活動拠点施設	46,112	
報 知 設 備 (通 信)			
消 防 水 利	耐震性貯水槽40m ³	6,792	篠原1号街区公園
そ の 他	消防団 自吸式防災担架	1,258	消防団 (8本)
	消防団 備蓄食料	956	
	FRP製折りたたみ式ボート	752	2艇
	幼年消防クラブ 鼓笛隊セット	479	

○ 令和4年度

(単位 千円)

事業名 (型式・規格・数量等)		金 額	配置・配備 (備考)
消 防 ポ ン プ 自 動 車	北部分団国府班 ポンプ車	26,730	
	岡豊分団八幡班 ポンプ車	26,510	
	消防団災害活動用重機	6,875	
消 防 屯 所			
報 知 設 備 (通 信)			
消 防 水 利	耐震性貯水槽40m ³	10,733	前浜防災活動拠点施設
	耐震性貯水槽40m ³	7,861	南国駅前線沿道広場
そ の 他	消防団 自吸式防災担架	1,258	消防団 (8本)
	消防団 備蓄食料	980	
	消防団 折りたたみ式ボート	818	2艇
	幼年消防クラブ 鼓笛隊セット	465	

17. 職員の定員及び実員配置状況

(R5. 4. 1現在)

階 級 区 分		消 防 職 員						事 務 員	計
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士		
定 員									71
実 員		1	10	15	17	6	18	1	68

消 防 本 部	消 防 長		1						1
	消 防 次 長			2					2
	総務課	課 長 補 佐		(兼1)					
		課 長 補 佐							
		総 務 係 長			1				1
		総 務 主 任			1(兼1)	(兼2)			1
		総 務 係 長				(兼1)	(兼2)		
		団 係 主 任			1				1
		団 係 主 任				(兼1)			
		団 係 主 任							
		防 災 へ り 出 向							
		消防学校入校					1		1
	警防課	警 防 課 長		1					1
		課 長 補 佐		1					1
		警 防 係 長			1				1
		救 急 救 助 係 長		(兼1)					
		救 急 救 助 主 任				(兼1)			
		救 急 救 助 係 長							
		警 防 主 任			(兼1)				
		警 防 係 長				(兼1)	(兼2)	(兼1)	
	予防課	予 防 課 長		1					1
		課 長 補 佐		2					2
		予 防 係 長		(兼1)					
		危 険 物 係 長		(兼1)					
		危 険 物 係 長					(兼1)		
		危 険 物 主 任				(兼1)			
		予 防 主 任			(兼1)				
		予 防 係 長				(兼1)		(兼2)	
	計		1	7	4	0	0	1	14

消	署長			(兼1)						
	副署長			2					2	
	第一消防隊	消防係長・隊長			1				5	
		副隊長		(兼1)						
		分隊長			1					
		隊員				1	2			
	第二消防隊	消防係長・隊長	(兼1)						3	
		副隊長		1(兼1)						
		分隊長								
		隊員				1	1			
防	第三消防隊	消防係長・隊長		1				5		
		副隊長		(兼1)						
		分隊長			3					
		隊員					1			
	救助隊	救助隊長		3					12	
		副隊長								
		分隊長			2					
		隊員				2	5			
	救急隊	救急係長・隊長			3				15	
		副隊長								
分隊長				6						
隊員					1	5				
署	出張所	所長	1					12		
		消防係長・隊長	(兼1)	2						
		副隊長								
		分隊長			5					
		隊員				1	3			
	計		0	3	11	17	6	17	0	54

18. 職員の年齢及び勤続年数調べ

(R5. 4. 1現在)

階 級 区 分	消 防 職 員						事 務 職 員	計
	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士		
実 員	1	10	15	17	6	18	1	68

【年齢別】

20 歳 未満						1		1
20 歳 ～ 21 歳								0
22 歳 ～ 23 歳						5		5
24 歳 ～ 25 歳						3		3
26 歳 ～ 27 歳					1	5		6
28 歳 ～ 29 歳					2	2		4
30 歳 ～ 31 歳				1	1	2		4
32 歳 ～ 33 歳					1			1
34 歳 ～ 35 歳				7				7
36 歳 ～ 37 歳				5	1			6
38 歳 ～ 39 歳			1					1
40 歳 ～ 41 歳			1	2				3
42 歳 ～ 43 歳			2	1				3
44 歳 ～ 45 歳			4	1				5
46 歳 ～ 47 歳		1	3					4
48 歳 ～ 49 歳		2	3				1	6
50 歳 ～ 51 歳		1						1
52 歳 ～ 53 歳		1	1					2
54 歳 ～ 55 歳		3						3
56 歳 ～ 57 歳								0
58 歳 以上	1	2						3
平均年齢	58.0	52.4	45.5	36.5	30.7	25.3	49.0	41.7

【年 数】

2 年 未満						3		3
2 年 ～ 3 年						3	1	4
4 年 ～ 5 年						4		4
6 年 ～ 7 年						8		8
8 年 ～ 9 年					6			6
10 年 ～ 11 年				3				3
12 年 ～ 13 年				8				8
14 年 ～ 15 年				5				5
16 年 ～ 17 年			3	1				4
18 年 ～ 19 年			2					2
20 年 ～ 21 年			4					4
22 年 ～ 23 年			2					2
24 年 ～ 25 年								0
26 年 ～ 27 年								0
28 年 ～ 29 年		1	1					2
30 年 以上	1	9	3					13
平均年数	36.0	32.5	22.3	13.1	8.3	4.5	3.0	16.8

19. 職員の居住地及び通勤距離調べ

(R5. 4. 1現在)

階級 区分	消 防 職 員						事 務 職 員	計
	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士		
実 員	1	10	15	17	6	18	1	68

【居住地】

上 倉								0
瓶 岩								0
久 礼 田		1	2			1		4
国 府		1	1					2
岡 豊		1		1				2
長 岡		1	1	4	2	4		12
野 田	1							1
後 免								0
大 篠		3	4	6	2	10	1	26
岩 村					1	1		2
日 章								0
前 浜								0
三 和								0
稲 生								0
十 市		1	2	1	1	1		6
市 外		2	5	4	1	1		13
合 計	1	10	15	16	7	18	1	68

【通勤距離】

1km以内		1	2	2	1	6		12
2km以内		1		2	1	8	1	13
3km以内	1	2	2	5	1			11
4km以内			1	1				2
5km以内		1	2	1	1			5
6km以内		2	1	2				5
7km以内			1	2	1	2		6
7km 超		3	6	2	1	2		14
合 計	1	10	15	17	6	18	1	68

20. 職員の委託教養状況

年 度		25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	計	既入校 S42～H24
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科			1				1				2	2
	幹 部 研 修 科				1	1	1			1	1	5	3
	予 防 科							1				1	3
	警 防 科									1		1	1
	危 険 物 科										1	1	0
	機 械 科												1
	救 助 科												2
	新 任 教 官 科										1	1	0
	火 災 調 査 科												2
救急救命東京研修所						1	1	1	1			4	5
救急救命九州研修所		1	1	1	1			1	1	1	1	8	12
指導救命士				1	1	1	1				1	5	2
高 知 県 消 防 学 校	幹 部 教 養												10
	幹 部 専 科	2	2		2	2	2	2	2		2	16	2
	予 防 専 科	2		2		2		2		2		10	15
	警 防 専 科	1	2	2	2	2	2	2		2	2	17	18
	救 助 専 科	2	2	2	2	2	2	2		2	2	18	42
	操 法 専 科	2		2				2				6	21
	原 調 専 科	1										1	23
	無 線 専 科												20
	火 災 調 査 科				2		2				2	6	
	現 任 専 科												19
	応急手当指導員											0	54
	初 任 教 育	3	2	4	5	3	2	2	2	2	2	27	96
	救急標準課程	3	2	4	5	3	2	2	2	2	2	27	24
計		17	11	19	21	17	15	18	8	13	17	156	377
大型自動車免許取得		2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	23	63

21. 職員の諸手当状況

(R5. 4. 1現在)

名 称	金 額	備 考
救 急 出 動 手 当	1回 500 円	救命士資格を持ち救急業務に従事するもの
	1回 300 円	救急業務に従事するもの
特 殊 勤 務 手 当 (救急出動手当の特例)	1回 2,000 円	新型コロナウイルス感染症が疑われる患者等を救急搬送した場合(搬送先施設で新型コロナウイルス感染症に関する検査を実施した場合を含む)
	勤務1回につき4,000円を上限	
災 害 出 動 手 当	1勤務 400 円	消防業務に従事するもの
夜 間 勤 務 手 当	1日 25/100×2時間	消防業務に従事するもの
夜 間 業 務 手 当	1回 730 円	隔日勤務者で(深夜)勤務に従事するもの
休 日 勤 務 手 当	1日 135/100×時間	当務者勤務時間
管 理 職 手 当	月額 57,300 円	消防長
管 理 職 手 当	月額 49,100 円	次長、署長および課長
管理職特別勤務手当	災害時等 休日勤務12,000円以内/1回 夜間手当6,000円以内/1回	

22. 職員の表彰受章状況

種 別		年 度											既 受 章 S42～H24
		25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	計	
消防庁長官	功 勞 章							1				1	1
	永年勤続功勞	1		1	1	1						4	7
全 国 消防長会 (四国)	行政功勞・特別	1								1	1	3	2
	永年勤続20	7										7	48
	永年勤続25												29
	永年勤続30				7	1					5	13	19
	永年勤続35												20
	永年勤続40												2
	優 良 章		1									1	4
高知県知事	永年勤続功勞	3			1	2	5	3				13	47
	功 績 章	1		1			1	2				5	5
日 本 消防協会長	勤 続 章	2				7	1			1	2	14	31
	精 績 章	1	1		1	1			1	1	1	7	17
	功 績 章									1	1	2	5
中 央 地 区 協 議 会 長	功 績 章												1
	優 良 章	1	1	1	1	1	1	1	1		1	9	30
高 知 県 消防協会長	勤 続 章	5	3					1		1	1	11	56
	功 績 章	3	2		4		4	1				14	63
高 知 県 消 防 長 会	優 良 章												7
	優良章 (東部)												5
計		25	8	3	15	13	12	9	2	5	12	104	399

23. 職員資格取得状況

(R5. 4. 1現在)

階 級 区 分	消 防 職 員						事 務 職 員	計
	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士		
定 員								71
実 員	1	10	15	17	6	18	1	68

資 格								
第1種安全衛生管理者	1	2		2				5
危 険 物 取 扱 者 甲			1					1
危 険 物 取 扱 者 乙 一	1		1	3				5
危 険 物 取 扱 者 乙 二			1	2				3
危 険 物 取 扱 者 乙 三			1	2				3
危 険 物 取 扱 者 乙 四	1	5	15	17	3	14		55
危 険 物 取 扱 者 乙 五			1	2				3
危 険 物 取 扱 者 乙 六			1	2				3
危 険 物 取 扱 者 丙 種		4	2	2				8
消 防 設 備 士 乙 四	1	1		1				3
消 防 設 備 士 乙 六	1	2	1	1		1		6
予 防 技 術 士	1	2	3	1				7
無線従事者（第2級陸上）	1	5	13	17	6	17		59
ク レ ー ン	1	6	14	13	7	5		46
玉 掛 け	1	7	14	13	6	6		47
ガ ス 溶 断	1	6	14	13	3	5		42
応 急 手 当 指 導 員	1	10	15	17	6	17		66
救 急 救 命 士		6	5	11	2	2		26
普通自動車運転免許	1	10	15	17	6	18	1	68
大型自動車運転免許	1	10	15	17	4	8		55
計	13	76	132	153	43	93	1	511